

富士山

し ぜん かん さつ

御殿場口の自然観察



1707年の噴火と雪代とよばれる雪崩ため、御殿場口ではパイ
オニア植物や珍しい昆虫たちが生きる特別な自然環境と、少し
づつ森ができてゆく様子を観察することができます。

しょうぶつ せん く しょうぶつ
パイオニア植物 (先駆植物)

ふんか なだれ しょうぶつ
噴火や雪崩で植物がなくなったところは太陽の熱
とつよい風のためふうの植物は生きることができ
ません。このような場所に最初に生えてくるのがパイ
オニア植物です。標高の高いところから雪崩で流
されてきたオンタデは、ちぎれて埋まった根から芽
を出しています。



フジアザミ



フジハタザオ



イタドリ



オンタデ

しょうぶつ ぐん らく しょうへん しょうぶつ
植物群落 (パッチ) と周辺の植物

イトドリがひろがるとほかの植物がそ
こに生えてきます。やがて、カラマツ
やミヤマヤナギなどの木も生えてきま
す。ここでは、いろいろな植物が生き
られる場所をイトドリがつくっている
のです。強い風に飛ばされてきた砂が
植物の中に少しづつたまってゆき、植物の集団は島のような形になりました。



ムラサキモメンツル



ヤマホタルブクロ



クサボタン



キオン



ノコンギク



アキノキリンソウ



ヤマハハコ



フジトギリ



タチコゴメグサ



カリヤスモドキ



タカネノガリヤス



コタヌギラン



ネバリノギラン



マメグミ



カラマツ



シモツケ



フジバラ



ミヤマヤナギ

もり はじ しん りん げん かい
森の始まり (森林限界)

しよくぶつぐんらく 植物群落 (パッチ) が大きくなり、木の種類しゆるい おおも多くなりました。最初さいしよ はに生えたカラマツそうげん もりが大きくなって草原はカラマツの森にかわってゆきます。



もり なか ご てん ば ぐち まく いわ
森の中 (御殿場口から幕岩)

森の中には植物群落 (パッチ) だった地形が残っています。奥に進んでゆくと
人工林のほか、カエデ類やミズナラ、ブナなど、たくさんの木の森になります。



ご てん ば ぐち しゅうへん い 御殿場口周辺の生きものたち

し ぜんかんきょう なか きびしい自然環境の中で、たくさんの野鳥や動物、昆虫たちが生きています。



ヤマドリ



ビンズイ



ホオジロ



キジ



ニホンジカ



ノウサギ



ホンドギツネ



エゾハルゼミ



スジグロシロチョウの仲間
なかま



エゾアカヤマアリ

ルーペで観察しよう！



ヤマハハコ



コタヌキラン



アキノキリンソウ



イタドリ



スジグロシロチョウの仲間



地衣類
ちいりい



エゾハルゼミ



クサボタン



タチコメグサ

がいらいしよくぶつ 外来植物や侵入植物や 植物から 御殿場口の 自然環境を守ろう



こてんばぐち がいらいしよくぶつ はたけ ざっそう
 御殿場口では外来植物や畑の雑草などが
 120種も見つかっています。



ヒメスイバ



タケニグサ



スギナ



ピロドモウズイカ

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

2018.7

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1691-14 TEL 0550-89-6905 ホームページ <http://hosigarasu.org>